

# リサーチ・アドミニストレーター シンポジウム

日時

平成 25 年 1 月 16 日 (水)

13:00 - 17:30 (レセプション 18:00 - 19:30)  
12:30 より受付開始

会場

ステーションホテル小倉  
4 階 豊饒の間

[ 福岡県北九州市小倉北区  
浅野 1-1-1 ]

TEL:093-541-7111 (代表)

WEB : <http://www.station-hotel.com/>



・JR小倉駅直結

・地下駐車場あり。会場にてホテル係員に駐車券を提示の上、駐車料金サービスの照合印又は駐車料金サービス券をお受け取り下さい。

お問い合わせ

国立大学法人 九州工業大学

イノベーション推進機構

リサーチ・アドミニストレーション・センター

担当/田中 有理

● TEL/FAX : 093-884-3565

● E-Mail : [ura-office@ccr.kyutech.ac.jp](mailto:ura-office@ccr.kyutech.ac.jp)

● Web : <http://www.kyutech.ac.jp/ura/>

● 福岡県北九州市戸畑区仙水町 1-1  
共用 1 号棟 1 階



九州工業大学のURAとは?

URA (University Research Administrator) とは...

URAとは大学等において、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果の活用促進を行うことによって、研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を実現する業務に従事する専門職人材です。

九州工業大学は、平成24年度文部科学省事業「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」の「地域貢献・産学官連携強化」事業タイプに採択されたのを機に、URAを活用した体制の定着を目指しています。

開催プログラム

13:00-13:05 開会のご挨拶 九州工業大学 学長 松永 守央

13:05-13:25 「イノベーションとURA」  
文部科学省 科学技術・学術政策局 大学技術移転推進室長 工藤 雄之 氏

13:25-13:35 「北九州市の産業振興とURAへの期待」  
北九州市産業経済局 新産業振興部長 鈴木 優香 氏

13:35-14:00 「九州工業大学のURAの取組み」  
九州工業大学 リサーチ・アドミニストレーション・センター長 和泉 亮

14:00-14:30 「東京農工大学におけるURAの活動状況について」  
東京農工大学 研究戦略センター 副センター長 松尾 浩道 氏

14:30-15:00 「URA研修・教育プログラムの作成の現状」  
早稲田大学 研究戦略センター 教授 中島 一郎 氏

15:00-15:15 休憩

「地域貢献・産学官連携強化」の取り組み大学

15:15-15:35 「信州大学リサーチ・アドミニストレーションシステム」  
信州大学 産学官連携推進本部 リサーチ・アドミニストレーション室長 杉原 伸宏 氏

15:35-15:55 「福井大学URAオフィスの取組み」  
福井大学 産学官連携研究開発推進機構 URA オフィス 所長 鷲田 弘 氏

15:55-17:15 パネルディスカッション

テーマ「地域貢献・産学官連携におけるURAの役割」

モデレーター 九州工業大学 理事・副学長 (産学連携担当) 鹿毛 浩之  
パネリスト

- 文部科学省 科学技術・学術政策局 大学技術移転推進室長 工藤 雄之 氏
- 北九州市産業経済局 新産業振興部長 鈴木 優香 氏
- 東京農工大学 研究戦略センター 副センター長 松尾 浩道 氏
- 早稲田大学 研究戦略センター 教授 中島 一郎 氏
- 信州大学 産学官連携推進本部 リサーチ・アドミニストレーション室長 杉原 伸宏 氏
- 福井大学 産学官連携研究開発推進機構 URA オフィス 所長 鷲田 弘 氏
- 九州工業大学 リサーチ・アドミニストレーション・センター 副センター長 影山 隆雄

17:15-17:30 閉会のご挨拶 九州工業大学 理事・副学長 鹿毛 浩之

18:00-19:30 レセプション 【有料 3500円】

## 講師略歴と講演要旨

### 文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 大学技術移転推進室 室長 **工藤 雄之 氏**

- ・1995年 科学技術庁入庁 ・2002年 連合王国外務省給与留学(英シエフィールド大学)
- ・2003年 科学技術・学術政策局原子力安全課保障措置室補佐
- ・2007年 OECD グローバル・サイエンス・フォーラム事務局
- ・2011年 文部科学省大臣官房付(併)内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付参事官(基本政策担当)付企画官
- ・2012年 文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課大学技術移転推進室長

### イノベーションとURA

従来の産学連携によるこれまでの役割分担を超えた取組が求められており、「学」の側に、企業に劣らない組織的な産学連携活動の実現が不可欠である。そのための一つの取組として、大学における研究開発マネジメント人材であるURAがコーディネーターや事務部門と「協働」すること等により、持続的かつ新たなイノベーション創出に繋がることが期待されている。

### 北九州市 産業経済局 新産業振興部 部長 **鈴木 優香 氏**

- ・2003年4月 文部科学省入省
- ・2008年8月 米国ミシガン大学公共政策・高等教育修士課程
- ・2010年7月 文部科学省研究開発局海洋地球課課長補佐
- ・2012年7月 北九州市産業経済局新産業振興部長(現職)

### 北九州市の産業振興とURAへの期待

モノづくりの街としての北九州市の特徴や「環境モデル都市」に選定されている循環型社会の形成に向けた取組み、市の産業戦略について紹介する。また、産学連携の推進、大学の人材育成と研究開発への期待について述べる。

### 九州工業大学 リサーチ・アドミニストレーション・センター センター長 電気電子工学研究系 教授 **和泉 亮 氏**

- ・1996年 東京工業大学総合理工学研究科博士後期課程修了、博士(工学)
- ・1996年 北陸先端科学技術大学院大学材料科学研究科 助手
- ・2002年 九州工業大学 工学部 助教授
- ・2009年 九州工業大学 工学研究院 教授
- ・2012年 九州工業大学リサーチ・アドミニストレーション・センター センター長(併任)

### 九州工業大学のURAの取組み

九州工業大学リサーチ・アドミニストレーション・センターは、地域貢献・産学官の連携を強化することを目的として平成24年9月1日に発足した。本講演では、発足してからこれまでに取り組んできた本センターの活動について紹介する。

### 東京農工大学 研究戦略センター 副センター長・教授・学長特任補佐 **松尾 浩道 氏**

- ・1988年 科学技術庁(当時)入庁
- ・1998年 外務省在ドイツ日本国大使館一等書記官
- ・2003年 文部科学省地球・環境科学技術推進室長
- ・2006年 日本学術振興会国際事業部長
- ・2009年 文部科学省研究開発局参事官(宇宙航空政策担当)
- ・2012年 現職

### 東京農工大学におけるURAの活動状況について

東京農工大学は、文部科学省の支援を受け平成23年11月にURAの組織である研究戦略センターを新設し、その活動を開始した。今日は、本学における研究支援の全体像とその中のURAの位置付けと期待、組織・制度面の整備状況、これまでのURAの活動状況等について報告する。

### 早稲田大学 研究戦略センター 教授(兼・研究推進部産学官連携担当部長) **中島 一郎 氏**

- ・1970年 東京大学工学部電子工学科卒業、通商産業省入省
- ・1977年 ENA(国立行政学院、フランス)修了
- ・1999年 通商産業省環境立地局長 ・2001年 産業技術総合研究所理事(企画本部長)
- ・2003年 東北大学工学研究科教授(兼・未来科学技術共同研究センター長、産学官連携推進本部長)
- ・2009年 早稲田大学研究戦略センター教授

### URA研修・教育プログラムの作成の現状

大学等における研究推進体制の充実強化に資することを目的として、リサーチ・アドミニストレータの業務遂行能力向上に資する研修・教育プログラムの作成が2011年度からの3年度計画で進められている。2013年3月の試験的実施を前に、プログラムの概要と作成の現状を概説する。

### 信州大学 産学官連携推進本部 リサーチ・アドミニストレーション室 室長・准教授 **杉原 伸宏 氏**

- ・1999年 信州大学大学院工学系研究科修了 博士(工学)
- ・2000年 信州大学大学院医学研究科 助手
- ・2004年 信州大学医学部知的財産活用センター 助手
- ・2007年 信州大学産学官連携推進本部 講師
- ・2010年 信州大学経営企画室 学長補佐
- ・2011年 信州大学産学官連携推進本部リサーチ・アドミニストレーション室室長・准教授

### 信州大学リサーチ・アドミニストレーションシステム

信州大学では基礎研究段階から「産業界や地域の課題解決」を視野に入れ、恒常的に産学官連携を推進している。これは、全国トップクラスの地域貢献・産学官連携機能として、外部からも高い評価を得ている。ここで培われた研究支援のノウハウ・スキル等は、学内既存のURA業務従事者に蓄積されており、文部科学省URA事業を活用して、より高度に強化・発展させる。

### 福井大学 産学官連携研究開発推進機構 URAオフィス 所長 シニアURA **鷺田 弘 氏**

- ・1977年3月 京都大学工学研究科修士課程修了
- ・1977年4月 旭硝子株式会社入社
- ・1998年7月 旭硝子株式会社化学品事業部研究所 主幹
- ・2002年9月 科学技術振興事業団 技術移転プランナー
- ・2011年4月 首都大学東京 産学官連携コーディネーター
- ・2012年10月 福井大学URAオフィス所長・シニアURA

### 福井大学 URA オフィスの取組み

本学では「地域連携・産学官連携強化」を目的に24年10月URAオフィスを開設し、産学官連携本部との緊密な連携下、体制整備、研究支援の為の活動を開始した。今後、効率的・効果的な研究者支援・研究振興を達成し、社会還元、地域貢献の強化を行う。日常の地道な活動によりURAの定着化を行うことが重要と考えている。

1/16 シンポジウム申し込み欄

下記にご記入の上 Fax 頂くか、メールフォームからお申し込み下さい。

Fax 093-884-3565

所属	役職	氏名	メールアドレス(またはFAX)	レセプション出欠
				<input type="checkbox"/> 参加
				<input type="checkbox"/> 不参加

シンポジウム申込み メールフォーム  
<http://www.kyutech.ac.jp/ura/contact/>

※左記メールフォームからお申込みの方は  
件名欄に[1/16 シンポジウム申込み]と明記の上、  
備考欄に[レセプション参加の有無]を御書き添え下さい。

申し込み締切  
1 / 11